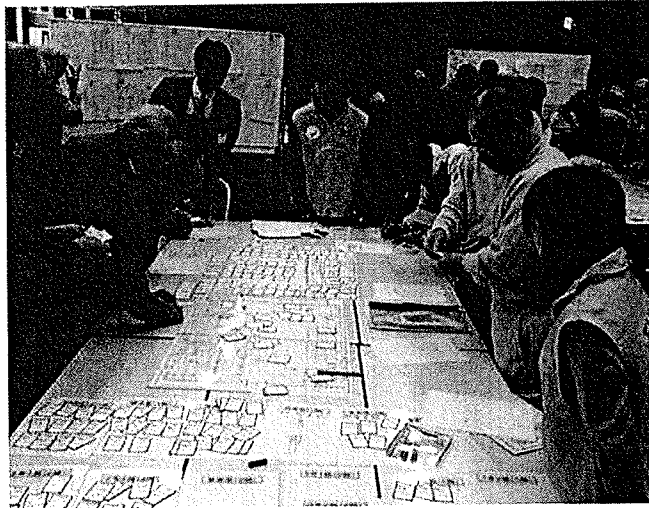


(注意) A4サイズ・横書き

<活動の様子>



垣生地区会議における防災マップ作り



防災士の皆さんへ避難所運営訓練 (HUG) の指導

事業名 大学生による自主防災組織活性化プロジェクト

<目的>

松山市には連合自主防災会が41あるが、どの地域も高齢化が進み、若い大学防災士が連携することで、活発な活動に繋げることができると思います。そのためには、私達自身が様々な防災に関する実践力を身に付ける必要があると思います。そこで、防災の専門家より、実践力を学び、私たちが専門家の代わりに自主防災会や、小学校と連携することが大事だと考えました。そして、自主防災会の地区会議や避難訓練など住民や子供たちと一緒に地域の安全・安心を考えていきたいと思っています。

<事業内容>

平成28年6月以降、54回の様々な防災活動に参加しました。

各自主防災会で行われた、避難訓練、地区防災会議へ参加しました。

災害シミュレータを用いた、地域における災害リスクを具体的提示しました。

避難所運営ゲーム (HUG)、災害図上訓練 (DIG)、防災まち歩きと防災マップを作成しました。

<市民の参画や他団体との連携>

松山市消防局地域防災課、危機管理課 松山市自主防災組織ネットワーク会議 消防科学センター 愛媛大学防災情報研究センター 以下の各自主防災会 小野地区、垣生地区、生石地区、五明地区、高浜地区、東雲地区 高浜小学校 道後温泉旅館組合主 防災インストラクター研修の防災士

<市民に対するPR>

私たちは学生防災士のグループです。本事業のおかげで、様々な防災のスキルを身に付けるとともに、多くの自主防災組織等と連携し、一緒に活動を行うことができました。また、防災教育や、避難所運営ゲーム (HUG) の指導もできるようになりました。一緒に活動を行っていきませんか。